令和８年度第１回　岐阜市立女子短期大学運営委員会報告書

１　日　時　令和８年８月２５日（火）１２時５５分～１４時１５分

２　場　所　岐阜市立女子短期大学　大会議室

３　出席者　（１）外部委員（１号委員）出席４名
　　加藤委員、糸尾委員、各務委員、長屋委員
　　（２）学内委員（２号委員）出席４名
　　大田学長、福村副学長、小野附属図書館長、伊藤事務局長

４　次　第　（１）委員会の役割について
　　（２）本学の概要、学生の動向等について
　　（３）新大学に向けた動向について

５　委員の意見

・次第（２）本学の概要、学生の動向等について

〇意見１

岐阜市立岐阜商業高等学校との連携において、中国語合同発表会などでの交流を継続している。今後は、情報分野も含めた連携や、高校の生徒と本学の学生との交流機会をさらに拡充し、双方の教育効果向上につなげてもらいたい。

〇意見２

デザイン環境学科が参加している「NOBIプロジェクト」について評価している。ファッション産業界としては、尾州地域の繊維産業との連携強化を期待しており、学生を交えた新たな企画やイベントを検討し、連携していきたいと考える。

〇意見３

岐阜県内の外国人住民数が増加している状況を踏まえ、在住外国人やその子どもたちを対象とした受入制度や入試枠の検討も有効ではないか。少子化が進む中で、多様な学生を受け入れる視点も重要であると考える。

〇意見４

健康・栄養分野は国の施策や医療現場において重要性が高まっており、栄養士への需要は大きい。本学は高い資格取得実績と長年の実績を有しており、今後も優秀な栄養士の養成を継続してほしいと考える。

・次第（３）新大学に向けた動向について

〇意見５

新大学構想に伴い、高校と大学との連携の在り方も変化すると考えられる。市関係部局と教育委員会が連携し、高大連携の方向性を検討してほしい。

〇意見６

栄養分野は薬学分野との親和性も高く、社会から求められている領域であるため、新大学においても栄養に関する教育や学びを継続できる仕組みを検討してほしい。